

合計	5					4					3					2					1					問題番号	配点	標準解答									
	4	3	2	1	(2)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	4	3	2	1	(2)	(1)	5	4	3	2				④	③	②	①					
50点	2点	2点	2点	1点	2点	(計9点)	3点	3点	1点	1点	2点	1点	(計11点)	6点	3点	2点	1点	1点	1点	1点	(計7点)	2点	2点	1点	1点	1点	(計8点)	1点	1点	1点	1点	1点	1点	1点			
	一尺の唐糸 ついに (少しの量だから) 何の役にも立たないだろう エ (仁兵衛への褒美として) 三百石を与える(こと)					イ ウ 「I」農家の朝は 「II」あせる 茂三は、雪乃が寝坊したことに對して、怒ったりあきれたりしてはいないということ。 (自分は) 目標を半分は達成できたのだから自信を持っているのだと納得する(様子)					○ 内容 「知ることが自分の力になった経験」について、どんなことを知ったのか、また、知ることがどんな力になったのかにふれながら明確に書いている。 ○ 表現 文脈に即して語句が適切に使われており、内容の述べ方や表現の仕方が工夫され、わかりやすい文章になっている。 ○ 表記 漢字や仮名づかいが正しく、句読点が適切に使われている。					「I」日常に目に 「II」模型やCG 「a群」ウ 「b群」エ 見えない部分を想像し、目の前で起こっているかのように見抜く(ことができるようになる) ア 【採点の観点】 ○ 内容 「知ることが自分の力になった経験」について、どんなことを知ったのか、また、知ることがどんな力になったのかにふれながら明確に書いている。 ○ 表現 文脈に即して語句が適切に使われており、内容の述べ方や表現の仕方が工夫され、わかりやすい文章になっている。 ○ 表記 漢字や仮名づかいが正しく、句読点が適切に使われている。					「A」4(番の棚) 「B」0(番の棚) イ 【資料】にある) 参考文献を読んでみてください。(。 苦しみを伴わない楽しみはない 細部を詳しく(捉えること)					おだ(やか) まんきつ 簡潔 絶(え間) 一転 「活用の種類」下二段(活用)・「活用形」終止(形) 「I」イ 「II」ア 「III」キ 2											